

(平成17年度事業)

施策名 (小項目)	ごみ処理	コード	01-01-14	担当課	環境課
		電話	64-1821		

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目 (基本目標)	すてき快適にぎわいのまち
	中項目 (基本施策)	自然と共存するまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	ごみの減量化・資源化するための方法を検討し、市民全体が環境に対して配慮できるようにする。	
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	市指定ごみ袋の導入による適正なごみ処理 (備前地域)。 ごみ箱設置・ごみ置場給水・生ごみ処理機購入など各種補助事業の継続	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	現在、ごみの焼却処理については、備前、日生及び吉永のそれぞれの地域で収集・処理体系が異なることから、今後、統一した処理が望まれる。また、一般廃棄物最終処分場については、広域化処理を視野に新たな施設整備が必要となってきた。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会の構築 ごみ減量化・資源化の推進 現有施設の延命化 リサイクル施設の整備 ごみ広域処理の推進 	

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名 ()はその人件費 (単位: 千円)	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	直接事業費 (単位: 千円)			優先 順位 (A~C)
			17年度 事業費			
1 1 (6,540)	B	資源ごみ回収推進事業	426,817			A
		廃棄物減量化・資源化対策等推進協議会事業	10,170			C
2 2 (7,052)	C	生ごみ処理容器購入費補助事業	0			B
		不燃物前処理委託事業	4,714			B
3 3 (2,205)	B	不燃物前処理維持管理事業	29,400			B
		指定ごみ袋事業	385			A
4 4 (3,105)	B	指定ごみ袋事業	2,134			A
		環境生活改善補助事業	32,566			B
5 5 (113,140)	C	備前地区塵芥収集事業	6,168			A
		塵芥収集車購入事業	16,255			B
8 クリーンセンター備前維持管理事業 (31,473)	C	クリーンセンター備前維持管理事業	6,120			A
		クリーンセンター備前整備事業	56,409			A
		全国都市清掃会議負担金	68,250			C
		全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金	80			C
		東備環境施設連絡協議会負担金	2			C
		廃棄物処理施設技術管理者協議会負担金	30			C
		岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	30			C
		岡山県適性困難指定廃棄物対策協議会負担金	30			C
		職員研修参加負担金	20			B
		職員研修参加負担金	94			

この施策に要した費用 (人件費込、単位: 千円)	H17	
	614,090	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
市民課	消費生活	マイバッグ運動の推進

⑧ 施策の評価

5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	適正な事業実施ができています	3	どちらともいえない
2 事業構成の妥当性	3	事業内容が複雑であるため改善すべきである。	3	同左 ごみ減量化に関する啓発事業を行うべき
3 施策の有効性	4	必要な施策である	4	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	<p>ごみ焼却維持管理事業については燃料、薬剤、電気代軽減に向けての努力を、また、最終処分場維持管理事業については、資源化を図り延命策に取り組む研究と努力が必要である。市民に対しても資源化・減量化の啓発に努める。</p> <p>地域間で異なる分別品目、受益者負担の統一を図っていくべきである 市民意識調査結果を指標に加えてください(参考3を変更)</p>			
担当部長コメント	ごみの減量化を進めるためには、生ごみのリサイクルが不可欠である。今後は、生ごみ処理容器購入補助金交付要綱をさらに充実させるとともに、グループによる生ごみの堆肥化を検討する必要がある。			

⑤ 施策成果指標の検討・設定 (基本目標・基本施策・施策意図から検討する)

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
ごみの減量化	ごみの排出量	1
ごみの資源化	ごみの資源化量	3
最終処分場の確保	年間埋立てごみの搬入量	2
減量化・資源化に関する啓発活動	ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	4

施策に対する成果指標名	単位	評価年度	目標値		ベンチマーク	指標の説明
			H17	H23		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目標	t	10,000.0			排出量の推移により課題が見つかる
	実績	t	10,552.0			
	達成率	%	105.5			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目標	t	350.0	500	600	中間処理場で分別した資源ごみ量
	実績	t	257.0			
	達成率	%	73.4			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目標	t	2,000.0	1,900	1,700	延命策の検討資料となる
	実績	t	3,174.0			
	達成率	%	158.7			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目標	%				市民意識調査結果
	実績	%	79.5			
	達成率	%	#DIV/0!			

市民意識調査結果	施策名	調査年度			
		H18	H19	H20	H21
重要だと思っている市民の割合	ごみ処理	%	9.3		
		満足している市民の割合	%	27.6	

